

湖西大学校交換留学 月例報告書 (12月分)

留学先大学：湖西大学校

氏名：堀江花

12月の報告書では期末と帰国のことについて報告していきます。

○期末テスト

私は、受講している日本語学と韓国語の授業で15週目に期末テストがありました。日本語の授業は選択問題と記述問題でした。選択問題は日本文化なので特に難しくなかったですが、記述は自分の考えを書かないといけないので少し難しかったです。韓国語の授業の期末テストは中間テストと形式は同じで、オープンブックで2、3問の教科書に答えがある問題と記述問題でした。韓国学生が受講する授業でも、授業によっては留学生でもできる試験を設けているものがあるので、授業を受講する時に授業計画書や生徒のレビューをよく見て事前に確認しておくのが良いと思いました。

○帰国

12月に学校が終わってからもビザの期間が切れる2月まで韓国で生活できたのですが、私は、日本に帰って就活を始めたいと思い、学校が終わってすぐに帰国することにしました。日本に帰るための手続きは特になく、寮を出るための退官申請だけしました。退館手続きは2週間ぐらいの期間があって、その間に寮の事務局に行って申請をしなければいけませんでした。申請をするために、部屋を全て綺麗にしてから事務局に行って、事務局の人と一緒に部屋を確認しにいき、書類にサインして退館を完了しました。寮を出るのが日曜日だったので、金曜日に退館申請を行いました。多くの学生が申請をしていて時間がかかりました。

日曜日の夜に寮を出発して、仁川空港に向かいました。大学のシャトルバスを使ってKTXがあるアサン駅まで向かいました。そこからKTXでソウル駅まで向かい、ソウル駅から仁川空港まで空港鉄道を使っていきました。事前にお土産などの荷物は郵便局で送っていましたが、それでもかなりの荷物があって友達と助け合いながら移動しました。夜に仁川空港に到着して、チムチルバンやカプセルホテルを探しましたがどこも人がいっぱい、仮眠できるスペースを見つけてそこで過ごしました。

12月は留学最後の月でしたが、この4ヶ月間は本当にあっという間でした。この留学は語学の勉強だけでなく、人として成長できたと思います。海外で生活することでしか体験できないことや出会いもたくさんありました。また、多くのことにチャレンジするきっかけにもなりました。韓国語で話しかけて友達を作ったり、お店で料理を注文することもはじめの方はドキドキだったり、そういった小さな挑戦も留学ならではの経験だと思います。また、韓国の大学生活を送れたことも私にとって大切な経験となり、夢だった大学生活を実現できて嬉し

かったです。自分の経験値を増やし、積極的に挑戦した留学生活は、自分の人生の中でかけがえのない思い出となりました。

